

週報

【2021/08 第3例会】

例会日：毎週金曜日
 例会場：碧海信用金庫本店3F
 安城市御幸本町15-1
 TEL: 0566-75-8866
 FAX: 0566-74-5678
 Email: anjo-rc19580206@katch.ne.jp
 HP: <http://www.anjo-rc.org>

第3073回例会（リモート）

2021年8月27日（金） 12:30～13:30
 司会者：野田 敏男君 ソング：「それでこそロータリー」
 ゲスト及びビジター
 アイカマニック・サリ さん（リモート）
 リー・カーマン さん（リモート）

2021-22年度：RIテーマ
 「SERVE TO CHANGE LIVES 奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」
 安城ロータリークラブ会長方針：
 「アットホーム ロータリー！～奉仕を通してロータリーを楽しもう～」

■会長：石川 義典
 ■幹事：辻 隆士
 ■クラブ会報：山口雄史・兵藤幸男・竹内通裕
 ■創立日：S33年1月10日
 ■RI加盟認証日：S33年2月6日



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

■ 会長挨拶

石川 義典会長



■ 出席報告

辻 隆士幹事

会員	55名
出席義務者	
出席	
欠席	
出席免除者の出席	
出席率	

■ 幹事報告

辻 隆士幹事

- 9/3・10（金）は、リモート例会（ZOOM）です。
- 地区大会・晩餐会の登録料は、全員登録・自己負担となります。
 例会場にての例会開催時に集金いたします。ご準備の程宜しくお願い致します。（9/17予定）
 ＊地区大会登録料 ￥12,000 / 晩餐会登録料 ￥20,000
- ゴルフ部会より 9/11第1回安城ゴルフコンペとガバナー補佐杯の登録をお願いします。
 例会がリモートになっておりますので、9/11のコンペ登録料は当日集金いたします。

◆ 卓話

担当：成瀬 清二君

テーマ「家畜輸送と牛の流通」

はじめに（家畜輸送開始の経緯）

1981年（昭和56年）に牛の運送を専門にトラックドライバーとして、牛の扱いなど見習い2年の修行を経て家畜輸送専門ドライバーとして独り立ちしました。
 当時は第2次オイルショックによる燃料不足、軽油の確保、単価の高騰に悩まされていた時期でした

1986年 時代もバブル経済を迎えた頃に、青森、岩手県の家畜市場を巡り、毎日の様に関東へ（週5回）肉牛の輸送を繰り返し、2ヶ月に1度しか帰宅出来ない時期もありました。輸送範囲は北海道～九州の広範囲に牛の輸送をしていました、下関から釜山に関釜フェリーで引き取り、（パスポートなしで）1991年バブル崩壊と同じくして私の長距離運転は次第に従業員に任せて、私は青果物の輸送を手掛け、当日の青果物業界は異常なほど好調で、当時バブル崩壊後の経済が低迷し、運送業界も不景でしたが、青果物業界の好調な波に乗る事ができたのかなと感じます。当時営業方針を食品・食に携わる輸送を主力としました

家畜輸送は競合他社が県内に3社ということで影響を受けることはありませんでした。しかしながら情報化社会になりIT化が進むとともに相場師的なブローカー主流の動きが低迷し物流形態も変わり2000年頃から畜産や青果物の流通形



態が変わってしまい輸送量の激減により、次に弊社の主力品目を米、園芸用土、肥料、資材を JA、量販店などの輸送に取り組み、卸売業としても販路を広げ現在に至ります。 そんな中、近年取り出されている様にJA全農・全酪連のあり方が一抹の不安を感じており、輸送方針・物流形態など考える時期になって来ました。

本日は 私の経験談が主になりますが家畜輸送(活牛)流通についてお話をします、宜しくお願い致します。

まずは、**家畜輸送**についてお話します

活牛専用輸送車は大小車両がありますが、弊社は大型トラックを使用して運行しております。画面で見る車両が一般的で、価格は大型トラックで2000万以上、製作に1年半ほど掛かります、積載は成牛で15頭、仔牛で35頭積んで輸送します。

肉牛の輸送中は基本、水も餌も与えませ、元牛の長距離運行の場合は、例えば北海道から愛知の輸送で4日運行になる為 水、餌を与えながらの運行になります。家畜のトラツク輸送には動物だけに様々な出来事が起こります。

次に、**家畜専用船舶**です、

船舶によりますが一度に3000頭ほど積まれてきますが一度に大量輸送とメリットがあるが、航行中に死亡するリスクが多い(旅客船、タンカーなど改造した船がほとんどで、中には自動車運搬船も使用) 輸入された牛は船から直接トラックに積込まれ検疫所に搬入します(検疫期間は2週間)その後食肉センター(とさつ場)へと輸送します。海に転落事故 港内航行停止

次に**航空機**です

使用される機体はボーイング777、エアバス機330機などの大型旅客機の払い下げ機を使用、改造し鉄作で囲い50頭程積まれて来ます、機体とトラックをスロープでつなぎ積み込み検疫所に搬入します。名古屋空港で滑走路を走り回りニュースになる

輸送の流れ

繁殖農家より出荷し仔牛市場へ輸送しセリに掛け肥育農家に(仔牛市場のセリは現在愛知県では新城市の市場だけになりました)(和牛の孔牛10ヶ月 体重260kg位 50~60万円)

肥育農家で20ヶ月育て成牛になると出荷です(和牛650~750kg・ホルスタの去勢750~850kg)成体市場に輸送 セリにかけられ食肉センター(ト殺場)へ輸送し、枝肉市場に冷蔵車輸送します。食肉センターへの搬入が主になりますが、他に輸入牛の移動 北海道から乳牛(ホルスタイン)の元牛を酪農農家へ輸送(知多半島が盛んである)肉牛用の仔牛は渥美半島が盛んです、近年ではF1 種(ホルスタインと和牛などの掛け合わせ)も多く生産され、当時は和牛として偽装して販売されていましたが近年識別番号、鼻紋など管理が構築されて、不正牛肉は減少しています。和牛では産地偽造なども横行していました。(松坂牛の例)

こうして運行する中 牛にも色々な性格があります。

牛の扱い ⑥

臆病な牛 動かなかったり蹴ったりする事が有ります、この様な牛をトラツクの中で整列させなければなりません、電気ショックを使ったり尻尾を曲げて左右前進させたり、バックさせるには鼻を押さえと後ずさりします。

気性の荒い牛 最善の注意を払って扱いますが時には攻撃してきます、特徴は眼が充血し頭を下げて攻撃的になります、次に突進してきます。そこで注意点として壁に(角に)立たないことです。そんな場面になった時は動かない事、必ず正面から来るので角が両脇を挟む形になり衝撃が少なく済みます、むやみに逃げると角で刺し持ち上げトラツクの車内の天井にしばらく押さえつけられます(逃げ場がない所に入ると覚悟ですね)

人馴れした牛 動きもよくいいんですが、頭を振ってじゃれてきます、要するに角を振り回してきます、それはそれで危険です

雄牛 (去勢されてない種牛) 野性的で凶暴、最善の注意を払って積み込みをします

と殺される前に涙がよく言われますが無いです。眼球が大きく、乾くから常に涙します、分かれば・・・

運転技術 ⑦

牛の足は弱く負担を掛けない運転操作を要求される。その為に急ブレーキ、急ハンドル、急発進を避け、変速クラッチ操作、アクセル操作など最善の注意を払って運転しますが今の交通状況では適用困難で最小限にするしか出来ませんが、神経を使うのは交差点の信号です。前方に赤信号が見えたら速度調整してブレーキは使わず、青なら停止の準備に入りますが、交差点直前で割り込みされると 停止までの距離感が崩れその時には切れます。他にも悪路を避ける、カーブの操作など衝撃を与えない運転を必要とされます。

次に、走行中の牛の把握をする事 走行中の振動のほかに牛の動きによる揺れなどを察知し牛が座る、倒れるなど判断しなければなりません、座たり倒れると他の牛に踏まれ内出血を起こして肉が使えなくなり事故牛と言う事で枝肉単価が下がってしまうのです。

以上のリスクを回避するには運行時間の短縮が不可欠となりますが、現在は連続運転4時間迄、休憩30分間と言う運輸局からの法の縛りが有ります。肉牛の長距離移動は様々な問題をクリアしなければなりません。

時には輸送中に死亡してしまう事もあり・・・こんな違法な処置も要求されましたが現在はしません

以前はその様な牛はペットフードの原料だったり、隠してミンチ肉にしたりしていました。現在は？

牛の流通 ⑧

種類

牛の流通には仔牛、肉牛、乳用牛に別れそれぞれ肥育農家、酪農農家へ出荷される。肉牛の種類の大半はホルスタイン種、和種、交雑種(F1)です。

雌・雄は生後8ヶ月頃に去勢し肉牛ように肥育します。

和牛について ⑨

現在日本の黒毛和種は兵庫県の田島地域の但馬牛が血統は99%です

但馬牛の種を中国に持出される未遂事件がありました

和牛には厳格な定義があり4種のみになる純潔個体でなければなりません

和種には4種あり①**黒毛和種**(和牛のほとんどが黒毛和種で、明治時代品種改良が行われ、1944年に品種が固定されました、各地で生産し血統牛はブランド牛として肥育生産している) ②**褐毛和種**(熊本、高知が原産地で赤牛と呼ばれている、熊本系は金色に近く、熊本赤牛とも呼ばれる)肉質は刺より赤身が美味し、国内生産は5%ほどの生産量です。 ③**日本短角種**(角が短くて赤と黒がいる)東北北部が主原産で手間がかからず、成長が早く丸々と育つ、放牧に適している。 ④**無角和種**(山口県の在来和牛を改良した品種)文字通り角がない牛で非常に生産量が少数です。

輸入牛

⑤**ホルスタイン種** ドイツのホルスタイン地方が原産地で雌は乳用か肉牛用に

雄は肉牛として国内では多く生産されている、酪農牛としてはホルスタイン牛が主流で有る、大半輸入でなく北海道で繁殖し仔をとり放牧して内蔵を強くし本土各地に配送される。シーズンは1月から3月でシーズン中は北海道からのフェリーの乗船が困難になるほど家畜車で溢れる。

⑤**ジャージー牛** イギリスのジャージー島が原産地で牛乳が有名です、体系は小ぶりで仔牛の時は可愛いのに大人になると微妙な顔になります、日本では少数です。

⑥**アングス牛** スコットランドが原産地、アメリカで多く生産されている、

放牧で肥育されているので猛獣のように攻撃的で元気がよい、飛行機から滑走路・船から港・トラツツク・食肉センターで逃げ出すことが有り大事件になった事が数回ありました

⑦**ヘレフォード牛** イギリスのヘレフォード県が原産地で世界3台肉用牛の

一つ、オーストラリアでも多く生産され輸入されている。アングス牛と同じく(問題を起こす牛である)

他にもシャロレー牛など100種類の品種がいます。

以上の品種が日本で多く消費されています

繁殖から肥育・商品

生産農家 種付け繁殖 出産の後8ヶ月育成し仔牛市場へ出荷

仔牛市場にて家畜商、JA、全酪連がセリ落とし各肥育農家

肥育農家で和牛は2年～2年半肥育、ホルスタインなどは1年半～2年肥育され肉牛市場へ出荷

家畜商などにセリ落とされた後、食肉センターにて枝肉に加工し枝肉市場にてセリにかける

枝肉業者より精肉店、加工業者などに卸され、店頭販売される

* 量販店、チェーン店、メーカーなどは産地より直接買入れをする産直型が主流になってきて輸送量の減少

* 酪農用の乳牛はほとんどがホルスタイン種で、仔牛を北海道(放牧し運動と牧草を食べて胃が丈夫)でセリ落とされ各地酪農農家に渡り約10年近く搾乳、出産(5. 6頭)後に肉牛としてセリにかけると経産牛となる為価格は安価となる

牛肉流通の概要と消費の構造について

国内生産 35.4万トン-----**出荷** JA系統(46.8%) 商系(53.2%) 取扱い----- **卸売市場** 12.6万トン 市場以外22.8万トン-----**全農、卸売問屋**-----小売り・加工業者へ

輸入 53.6万トン(オーストラリア51.9%・アメリカ37.6% 他)---**商社**-----

製造メーカー・食肉問屋-----小売り・外食産業

国産、輸入消費----家計27.5万トン(32%) 外食53.2万トン(62%) 加工5.2万トン(6%) 家計の倍

ご清聴ありがとうございました

第 3073 回例会

2021年8月27日（金）

卓話担当 成瀬清二

テーマ 【家畜輸送と牛の流通】



家畜輸送 (活牛編)



陸運 大型家畜車 積載 肉牛 15 頭・孔子 35 頭



輸入、輸出に使用している専用船舶

海運

家畜専用船

積載頭数 3000 頭

旅客船、タンカーを改造



空輸

家畜専用航空機（ジャンボ機）50 頭 旅客機を改造

輸送の流れ



繁殖農家～**輸送**～仔牛市場～**輸送**～肥育農家～**輸送**～家畜市場～**輸送**～食肉センター
仔牛市場～**輸送**～酪農農家

牛の扱い

牛舎からの出荷作業をドライバーさんが行う為、扱い技術を要求される

牛の性格を熟知し積込み作業を行う

- *臆病な牛 (怯える、蹴る、動かない)
- *気性の荒い牛 (攻撃的、暴れる)
- *人馴れした牛 (動きはいいが角でじゃれて危険)
- *雄牛 (去勢されていない種牛は凶暴で危険が伴う)
- *食肉センターに搬入する際に涙する・・・嘘です

牛の足は弱く負担を掛けないドライブテクニックを求められる

＊足が弱い為、走行中に座ってしまうので、衝撃を与えない運転操作を要求される

＊走行中の牛の動きを微妙な揺れ、振動で異常を察知し対処する

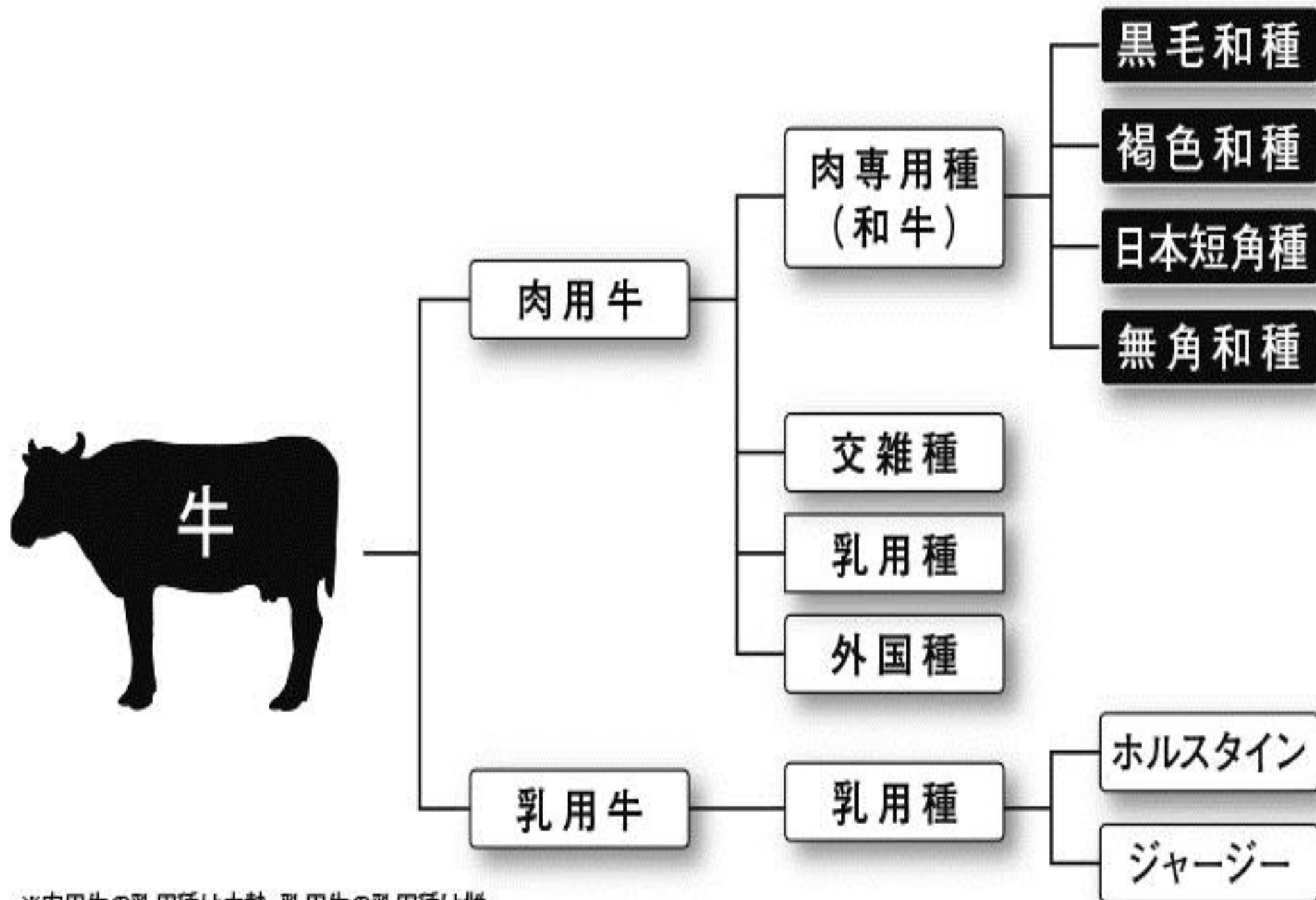
＊走行中に割り込み運転をされる、飛び出しなどで急ブレーキをかけるが最小限のブレーキで追突を回避

＊輸送中の休憩は最小限にして運行時間を短縮する



運行中のトラブルにどう対処できかが問われる

品種



※肉用牛の乳用種は去勢、乳用牛の乳用種は雌

和牛について

現在日本の黒毛和種は兵庫県の但馬地域の但馬牛の血統は 99.9%です。この血統を各地で生産している

和牛とは

和牛は、肥育期間に関係なく条件を満たした牛のみに与えられる品種名です。

和牛には厳格な定義があり 4 種のための牛になる純潔個体でなければならない。



国産牛とは

日本国内で3ヶ月以上肥育された牛で、国内での肥育期間の方が長い牛をいかなる場合も国産牛として扱える。

これらに分類されているが、黒毛和牛の中にも雄か雌か未経産か繁殖牛（経産牛）かで商品価値は別物になってしまいますがカテゴリーは**和牛**です。

和牛の品種



褐毛和種



日本短角種



無角和種



輸入牛の品種

ホルスタイン

ドイツのホルスタイン地方が原産地 雌は乳用・雄は肉牛



ジャジー牛

イギリスのジャジー島が原産地



アンガス牛

スコットランドが原産地でアメリカで多く生産されている



ヘレフォード

イギリスのヘレフォード県が原産地
世界3大肉用牛の一つである



他にもシャロレー牛など100種類近くの品種がある





1. 生産農家 種付け繁殖 出産の後8ヶ月育成し子牛市場へ出荷
2. 子牛市場にて家畜商、JA、全酪連がセリ落とし各肥育農家
3. 肥育農家で和牛は2年～2年半肥育、ホルスタインなどは1年半～2年肥育され肉牛市場へ出荷
4. 家畜商などにセリ落とされた後、食肉センターにて枝肉に加工し枝肉市場にてセリにかける
5. 枝肉業者より精肉店、加工業者などに卸され、店頭販売される
6. 量販店、チェーン店、メーカーなどは産地より直接仕入をする
7. 酪農用の乳牛はほとんどがホルスタイン種の仔牛を北海道（放牧し運動と牧草を食べて胃が丈夫）でセリ落とされ酪農により約10年近く搾乳、出産（5．6頭）後に肉牛としてセリにかける、経産牛となる為価格は安価となる

食肉センター(枝肉のセリ)の風景



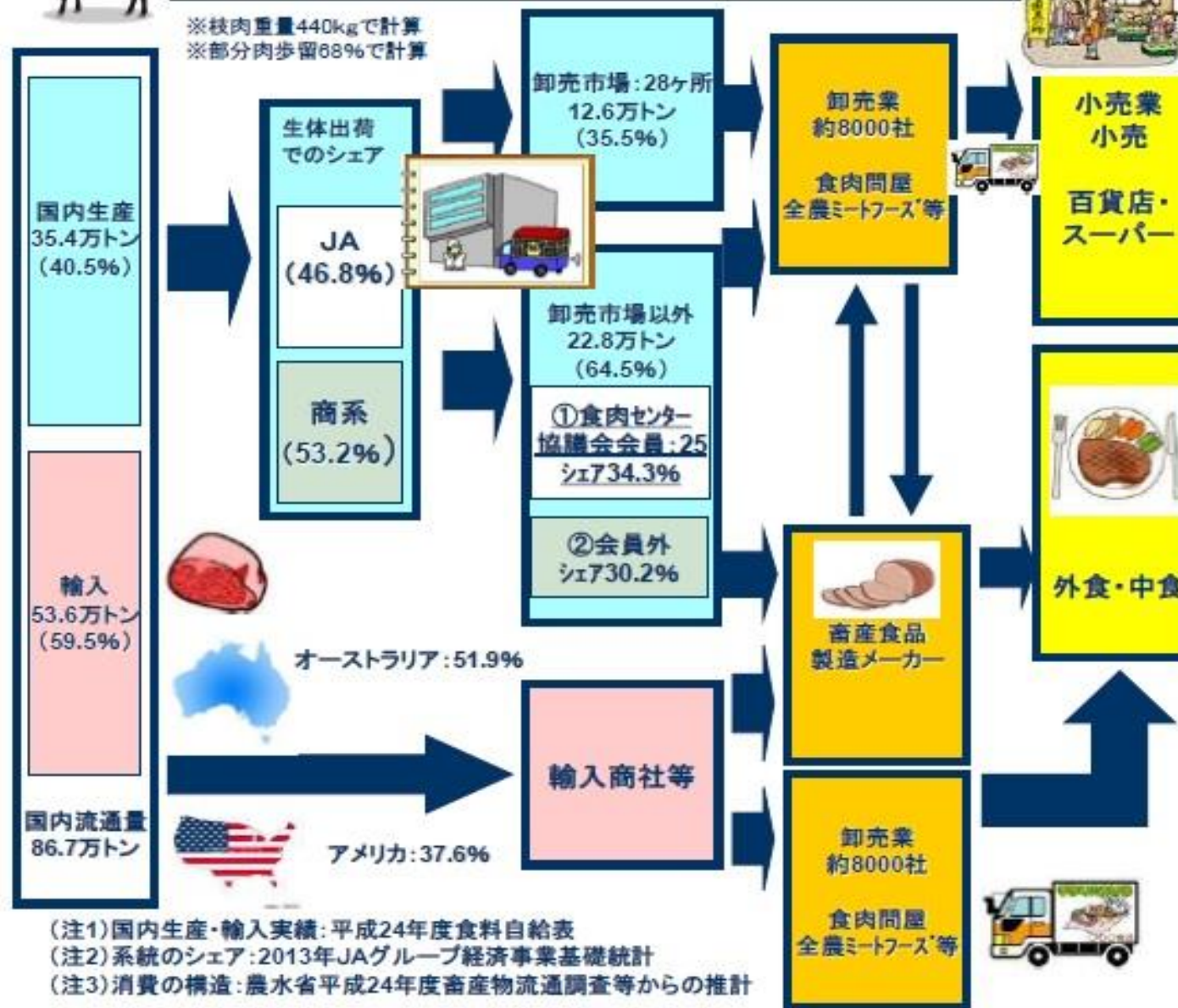
牛肉流通の概要と消費の構造

提出資料4



牛肉流通の概要

※枝肉重量440kgで計算
※部分肉歩留68%で計算



消費の構造

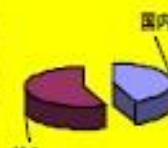
家計消費
27.5万吨 (全体32%)
・国産: 8.1万吨 (29%)
・輸入: 19.4万吨 (71%)

(コメント)
・低価格志向が強く、輸入品の割合が多い



外食・中食消費
53.2万吨 (全体の62%)
・国産: 23.6万吨 (44%)
・輸入: 29.6万吨 (56%)

(コメント)
・産地のこだわりよりも価格優先が多い。ただし、国産のこだわりも増加傾向



加工品消費
5.2万吨 (全体の6%)
・国産: 0.4万吨 (7%)
・輸入: 4.8万吨 (93%)

(コメント)
・牛肉自体の加工品が少ない。また単価の安い輸入牛肉の使用が多い



(注) 日本ハムソーセージ工業協同組合調査

(注1) 国内生産・輸入実績: 平成24年度食料自給表

(注2) システムのシェア: 2013年JAグループ経済事業基礎統計

(注3) 消費の構造: 農水省平成24年度畜産物流通調査等からの推計